



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	7,780	△13.9	391	△50.6	432	△48.7	286	△50.4
2018年12月期第3四半期	9,039	0.1	792	△14.9	843	△11.7	577	△68.8

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 309百万円(△40.2%) 2018年12月期第3四半期 517百万円(△74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	48.86	—
2018年12月期第3四半期	98.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	17,998	12,252	68.1
2018年12月期	15,843	12,094	76.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 12,252百万円 2018年12月期 12,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭 特別配当 5円00銭
 2019年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	6.2	1,200	9.7	1,220	6.2	850	1.2	145.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	6,392,736株	2018年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	525,826株	2018年12月期	536,544株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	5,861,926株	2018年12月期3Q	5,852,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、個人消費は持ち直し、設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にあり、雇用情勢は着実に改善、企業収益は高い水準で底堅く推移するなど、全体として緩やかに回復いたしました。

一方世界経済は、中国では景気は緩やかに減速しているものの、米国では景気は回復が続き、欧州では景気は一部に弱い動きがみられるものの緩やかに回復するなど、全体として緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開したものの、巻線機事業において、いくつかの大型案件に関する売上が第4四半期以降の予定となっているため、売上高は7,780百万円(前年同四半期比13.9%減)となり、利益面につきましては、巻線機事業の売上減少に加え、開発案件の増加等によるコスト増、送風機・住設関連事業の受注減少による売上減少に伴い、営業利益は391百万円(前年同四半期比50.6%減)、経常利益は432百万円(前年同四半期比48.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は286百万円(前年同四半期比50.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、受注残高が自動車関連向けを中心に14,765百万円と過去最高をさらに更新したものの、いくつかの大型案件に関する売上が第4四半期以降の予定になっていることもあり、売上高は4,604百万円(前年同四半期比20.4%減)、開発案件の増加等によるコスト増もあり、セグメント利益は659百万円(前年同四半期比35.3%減)となりました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期等が大きく異なるため、売上時期は、四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、工作機械や産業用ロボット向け軸流ファンの受注が減少し、浴室照明器具も集合住宅向けの受注が回復せず、全館空調システムを含む換気装置の増加では全体の売上減少のカバーには至らず、売上高は3,175百万円(前年同四半期比2.4%減)、セグメント損失は10百万円(前年同四半期は43百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.2%増加し、12,916百万円となりました。これは主に、仕掛品が2,148百万円、商品及び製品が1,193百万円それぞれ増加し、現金及び預金が802百万円、受取手形及び売掛金が551百万円、電子記録債権が646百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、5,082百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が445百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.6%増加し、17,998百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて59.7%増加し、5,360百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が982百万円、前受金が1,212百万円それぞれ増加し、受注損失引当金が218百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、386百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて53.3%増加し、5,746百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、12,252百万円となりました。これは主に、利益剰余金が110百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年2月14日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,724,795	2,922,578
受取手形及び売掛金	3,417,580	2,866,252
電子記録債権	989,924	343,672
商品及び製品	931,852	2,125,473
仕掛品	1,435,756	3,584,331
原材料及び貯蔵品	610,090	668,736
未収還付法人税等	72,952	16,849
その他	130,557	389,963
貸倒引当金	△2,401	△1,470
流動資産合計	11,311,107	12,916,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,926,772	2,936,730
減価償却累計額	△1,834,558	△1,896,746
建物及び構築物(純額)	1,092,214	1,039,983
機械装置及び運搬具	1,444,338	1,546,542
減価償却累計額	△1,035,040	△1,108,716
機械装置及び運搬具(純額)	409,298	437,826
工具、器具及び備品	1,215,435	1,317,910
減価償却累計額	△1,078,304	△1,135,084
工具、器具及び備品(純額)	137,130	182,825
土地	1,575,464	1,578,359
建設仮勘定	395,966	841,118
有形固定資産合計	3,610,075	4,080,113
無形固定資産		
ソフトウェア	80,616	73,774
電話加入権	3,043	3,043
その他	131	119
無形固定資産合計	83,791	76,937
投資その他の資産		
投資有価証券	333,469	351,540
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	258,132	255,269
繰延税金資産	219,816	273,285
その他	26,631	44,919
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	838,049	925,015
固定資産合計	4,531,916	5,082,067
資産合計	15,843,024	17,998,454

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,717,259	2,699,972
未払金	301,585	271,190
未払法人税等	33,037	49,869
前受金	777,633	1,989,701
賞与引当金	69,107	187,137
アフターサービス引当金	71,297	64,855
受注損失引当金	218,419	—
その他	167,573	97,352
流動負債合計	3,355,913	5,360,080
固定負債		
繰延税金負債	15,796	14,952
退職給付に係る負債	170,714	172,993
資産除去債務	19,618	19,859
その他	186,544	178,304
固定負債合計	392,674	386,109
負債合計	3,748,587	5,746,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,799,593	1,816,387
利益剰余金	9,499,606	9,610,346
自己株式	△376,254	△368,838
株主資本合計	12,173,761	12,308,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,340	88,267
繰延ヘッジ損益	20,971	43,792
為替換算調整勘定	△177,637	△188,507
その他の包括利益累計額合計	△79,325	△56,447
純資産合計	12,094,436	12,252,264
負債純資産合計	15,843,024	17,998,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	9,039,549	7,780,191
売上原価	6,435,203	5,735,768
売上総利益	2,604,346	2,044,422
販売費及び一般管理費	1,812,134	1,653,334
営業利益	792,211	391,088
営業外収益		
受取利息	2,436	965
受取配当金	4,958	5,296
受取賃貸料	10,304	10,069
受取保険金	10,643	—
作業くず売却益	6,316	8,140
その他	18,162	20,187
営業外収益合計	52,823	44,659
営業外費用		
支払利息	—	140
賃貸費用	—	967
減価償却費	1,999	1,751
その他	19	4
営業外費用合計	2,018	2,864
経常利益	843,016	432,883
特別利益		
固定資産売却益	2,970	799
投資有価証券売却益	—	76
特別利益合計	2,970	875
特別損失		
固定資産除売却損	309	—
特別損失合計	309	—
税金等調整前四半期純利益	845,677	433,759
法人税、住民税及び事業税	294,795	216,019
法人税等調整額	△26,578	△68,685
法人税等合計	268,216	147,334
四半期純利益	577,460	286,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	577,460	286,425

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	577,460	286,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,650	10,926
繰延ヘッジ損益	△20,479	22,821
為替換算調整勘定	△24,030	△10,870
その他の包括利益合計	△60,159	22,878
四半期包括利益	517,300	309,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517,300	309,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,787,327	3,252,221	9,039,549	—	9,039,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	522	522	△522	—
計	5,787,327	3,252,744	9,040,072	△522	9,039,549
セグメント利益	1,020,754	43,834	1,064,589	△272,377	792,211

(注)1.セグメント利益の調整額△272,377千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,604,571	3,175,619	7,780,191	—	7,780,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	629	629	△629	—
計	4,604,571	3,176,249	7,780,820	△629	7,780,191
セグメント利益 又は損失(△)	659,934	△10,358	649,575	△258,487	391,088

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△258,487千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。